ミニトマト農業研修生の確保について

農林水産課

1 ミニトマト農業研修生の募集方法について

都市圏で開催される新・農業人フェア、移住定住相談会で募集を行っているほか、町のホームページに掲載し、募集を行っている。

8月中旬には、大阪ふるさと暮らし情報センターの登録者を対象にダイレクトメールを送ったほか、メールマガジンによる周知を行った。

○ 相談会等参加状況

月 日	名 称	開催地	就農相談件数
6月10日(日)	住む・働く・鳥取県移住フェア	大阪市	3組
7月15日(日)	鳥取来楽暮カフェ	大阪市	1組
7月21日(土)	新・農業人フェア	大阪市	8組
7月28日(土)	いなか暮らしフェア	大阪市	1組

2 農業研修生に関する問い合わせ状況について

8月末現在で、電話等による問い合わせが4名からあり、うち3名が農業・移住体験ツアー（9/22、23日開催）に参加予定

○ 相談者概要

年齢・性別	出身地	備考	
30代男性	奈良県	ホームページから問い合わせ	ツアー参加予定
30代男性	大阪府	新・農業人フェア参加者	ツアー参加予定
30代男性	鳥取県	農大研修生	ツアー参加予定
40代女性	京都府	ホームページから問い合わせ	

3 農業・移住体験ツアー参加状況について

9月22日（土）、23日（日）に、商工観光課と連携して開催。

ツアーは、移住定住コースと農業コースがあり、8月末現在で6名がツアーに参加予定。

中山間地域での酒米づくりと杜氏を行う農業研修生の募集について

農林水産課

1 概要

農業の担い手が不足するなか、中山間地域の集落営農組織でも、高齢化などの影響から、オペレーターや作業員が不足し、将来的に活動が困難になっていくことが危惧されています。

一方、冬の間には作業を行う、日本酒製造の杜氏も不足しています。

そこで、半農半xのモデルケースとして、農繁期には集落営農組織の一員として酒米づくりなどの研修を行い、農閑期に杜氏として従事する農業研修生の募集を現在検討しています。

○想定する作業スケジュール

3月～11月：集落営農組織で、酒米、大豆等の農業研修

12月～3月：町内酒造会社で杜氏として従事

2 募集開始時期について

平成30年9月から募集を開始（予定）

3 活動開始時期について

平成30年10月以降（予定）

4 予算措置について

現在、農業研修生2名分の予算を計上しており、ミニトマト研修生は募集しますが、その一部をこの地域おこし協力隊に充てることを想定しています。

5 その他

農業研修中の住居は、農業研修生宿泊施設を活用する予定です。